



アーティストビレッジ阿蘇096区見学



ホールでは持田社長が館内を説明。また、案内役として096k熊本歌劇団員が各所に配置され、笑顔で対応していた。

1日目の日程の最後はアーティストビレッジ阿蘇096区内の見学。おもにマンガ学科への進学を希望する中学生が参加しました。



プロの漫画家の作業現場や使用機材を見学。

7月28日(木)

翌日28日(木)には観光コーディネーター養成講座を受講した高森高校生による町内観光案内が行われました。参加した24名は南阿蘇鉄道株式会社のトロッコ列車「ゆうすげ号」への乗車など、高森高校へ入学した際の生活などに思いを巡らせながらそれぞれに観光を楽しみました。



町内観光案内の1箇所目は「湧水トンネル」参加者は、涼しいトンネル内に癒されているようだった。



7月ということもあり、七夕飾りを写真に収める人や初めて見るウォーターパールを楽しんでいるようだった。



高森高校の生徒がトロッコ列車に乗車、参加者へ高森の美しい風景や歴史を紹介した。



こちらをスマートフォンで読み取ると高森高校オープンスクールの様子を放送したT P Cの映像をご覧いただけます。



こちらのQ Rコードをスマートフォンなどで読み取ること、高森高校マンガ学科のP R動画を見ることが出来ます。

第一次 岸田内閣 金子恭之総務大臣が地域おこし協力隊の活動を視察

7月24日(日)・25日(月)に第一次岸田内閣金子総務大臣が熊本県を来訪され、25日(月)は南阿蘇鉄道や096k熊本歌劇団などで活動する地域おこし協力隊の様子や熊本地震からの南阿蘇地域の復興状況を視察されました。

アーティストビレッジ阿蘇096kで行われた車座意見交換会※では草村町長、吉良商工会長、集落支援員の東さん、NOKaTs白石代表、地域おこし協力隊の穴戸さん(南阿蘇鉄道勤務)、野村さん(096k熊本歌劇団所属)が出席され、それぞれの活動や事業展開、それらを行ううえで現在困っていることなどについて意見を述べられました。

また、視察全体の締めくくりとして「高森町は地域おこし協力隊と集落支援員の活用を先駆的に行われている。総務省に持ち帰り、成功事例として全国に横展開し、これを今後のまちづくり、地方創生に活かしていきたい。高森町の取組は誇りに思うし、充実した視察になった。」と語られました。



中松駅から南阿蘇鉄道に乗車された。



車座意見交換会後、参加者との記念撮影



第一白川橋梁の架け替え状況を視察



最後に立野ダムにて進捗状況などを確認